

令和6年度 第2回安曇野市黒沢洞合自然公園整備検討委員会 会議概要

- 1 審議会名 令和6年度 第2回黒沢洞合自然公園整備検討委員会
- 2 日 時 令和7年2月28日(金) 午後1時30分から
- 3 会 場 会議会場：市役所本庁舎 3階 会議室301
- 4 出席者 浅川委員、中田(達)委員、猿田委員、窪田委員、那須野委員、榛葉委員、佐藤委員、
城取委員、増田委員、大浜委員、中田(信)委員、廣瀬委員、東本委員、(株)KRC藤村氏
- 5 市側出席者 橋渡教育長、山越子ども家庭支援課長、子ども子育て政策係 赤羽課長補佐、岩淵、
林主査、財産管理課 矢花係長
- 6 公開・非公開の別 公開
- 7 傍聴人 0人 記者 2人
- 8 会議概要作成年月日 令和7年3月4日

協 議 事 項 等

I 会議の概要

- 1 開 会
- 2 委員長あいさつ
- 3 協議事項
 - (1) 拡張工事の進捗報告について
 - (2) 開園後の公園管理について
 - (3) 検討委員会について
 - (4) その他
- 4 教育長あいさつ
- 5 閉 会

II 協議概要

- 1 開 会
- 2 委員長あいさつ
委員長より、開会の挨拶をいただいた。

3 協議事項

(1) 拡張工事の進捗報告について

事務局より資料1を用いて説明。

(委員)

工事にあたって水利への影響が気になる。水の流れはどうか。

(事務局)

工事の手順として車両搬入のための進入路幅をし、その後に拡張地北側の水路の廃止と仮設水路の建設を行う。また、水路と公園の入りの部分と黒沢川に抜ける部分については、拡張部分完成後も変更はないので公園下流へ流れていく水量に影響はないと考える。

(委員)

生き物保全会の参加者は三郷小学校6年生を予定しているようだが、その他の団体を募る予定などはないか。

(事務局)

三郷小学校の6年生は130名程度と多数いるため、相当数の生き物が確保されると予想できる。その後に実施するとして、効果があるか、参加者が満足できるか検討したい。また、進入路ですれ違いが難しいという問題から、広く募集する場合には開催方法の検討が必要である。

(委員)

野生生物は広い範囲からやってくるので生き物を取り尽す恐れはないと思われる。またフトイや伐採木の薪等の無料配布会ができるように検討してほしい。

(事務局)

工事スケジュールとの兼ね合いがあるため、施工業者とも協議をしながら検討したい。また、生物観察会の運営支援業者等にも意見を聞き参考としていく。植物や薪の配布会は前向きに検討していく。

(委員)

造成工事の入札スケジュールに遅れがあったとのことだが、6月入札予定のトイレ建築工事においても同様の事態にならないか。

(事務局)

造成工事時の入札不調は、工事規模の大きさが起因したのではないかと捉えている。トイレ建設工事は比較的小規模であるため、参加者は集まりやすいのではないかと考えている。

(2) 開園後の公園管理について

各項目を資料2-1および2-2に基づき説明。以下質疑等があった項目について記載。

①「黒沢洞合自然公園の設置及び管理に関する条例」、第4条（開園等）・第5条（行為の制限）について

(事務局)

第4条について、常時開園の余地も検討したが、設備的な問題や立地的な問題から現状のままとしたい。記載の時期・時間帯以外の使用については、申請を受け、使用の目的等を考慮のうえ使用許可を出すものとする。

(委員)

管理条例第4条の記載は現状のままとし、教育委員会でうまく運営して行ってほしい。

(事務局)

これまでの検討委員会でも、園内の動植物の採取も可能にした方がよいとの意見もあった。第5条(2)で植物の採取を禁止する旨の記載があるが、「管理及び個人的な研究や観察以外を目的として」というような文言を追加し、ある程度の採取が可能にしたい。

(委員)

希少な植物も多く自生しているため、植物の採取は禁止した方がよい。黒沢洞合自然公園には昆虫が多くいるが特定の種は年々減ってきている状況にある。条例では敢えて昆虫採取を禁止しないが、業者が飼育販売目的で採取するのを防ぐ目的で、今後設置するサイン等で注意喚起してほしい。

②公園管理の範囲について

(委員)

以前の検討委員会では、資料2-1裏面の植栽管理の区域区分図内のFにあたる箇所については管理範囲とするか課題としていた。資料2-2によると管理範囲内ということではどうか。

(事務局)

区域Fについては、見通しの確保のため下刈りを行いクマ対策に繋げたい。

(委員)

クマ対策について話が出たが、洞合周辺にはクマだけでなく、サルが目撃も多い。電気柵が山側に設置してあるが、電気柵を超えてきた群れが電気柵と人が住むエリアの間に住み着いているようだ。鳥獣対策はどうするか。

(事務局)

有害鳥獣の出没状況については、定期的に耕地林務課の担当者から情報共有してもらっている。今後はより詳細な情報を地域の方々からいただき、関係各署一丸となって対応していきたい。

(3) 検討委員会について

拡張整備工事締結により、整備検討委員会の目的が達成できたとし、本検討委員会をもって解散としてよいか諮った。

(委員)

委員会の解散前に公園の整備状況を確認し、評価する機会がある方がよいのではないか。しゅん工前に現地確認を行う機会はあるか。

(事務局)

現時点で考えていない。整備検討委員会としての開催ではないが、現場を確認する機会を設けることもできると思うが、建設スケジュールや諸条件を考慮しながら検討してほしい。

検討委員会の解散について委員より承認を得た。

(4) その他

南安曇農業高等学校 榛葉先生より今年度公園づくりに参加した生徒の研究結果と、来年度参加予定の生徒及び研究内容についての説明があった。

4 教育長あいさつ

5 閉 会